



子ども食堂ってなに？

- 子ども食堂とは、子どもから高齢者まで行ける無料または低額の食堂で、中には学習支援などを行っている団体もあります。
- 開催頻度は、月1回のところから365日提供しているところもあります。
- 規模は、数人を対象としているところから毎回数百人が集まるところまで、実に多様です。
- 運営団体は、個人、ボランティア団体、飲食店、NPO法人、社会福祉法人、企業などです。
- 目的も、食事を提供するだけではなく、孤食の解消、食育、地域交流の場づくりと、様々です。
- コロナ禍では、子ども食堂の開催方法をフードパントリー（お弁当や食材等の配布）に変更するなど、工夫しながら、子ども、子育て世帯等とのつながりを守る活動を続けています。



子ども食堂は、なんで必要なの？

- 子どもたちなどに食事を提供する場であるとともに、地域の大人や友達と一緒に過ごすことで様々な経験が得られる貴重な場であり、家庭や学校以外の居場所として注目されている活動です。
- それ以外にも、困っている子どもや家庭に気づいた際には、適切な支援や機関に繋げる役割が期待される活動です。



フードバンクとの関わり

- フードバンクとは、食品企業や、個人、団体などから寄贈いただいた食品を支援が必要な人へ無料で提供する活動です。
- 子ども食堂の中には、フードバンクから食材を提供していただいているところもあります。
- フードバンクは、子ども食堂の安定運営を支える役割も担っています。



「こども食堂ネットワークぐんま」ってなに？

子どもの居場所だけではなく、地域の居場所として期待される子ども食堂は群馬県内で広がりを見せています。それぞれの地域で、各団体が創意工夫をしながら運営をしています。

子ども食堂に行きたい人、手伝いたい人、そして始めたい人などを結びつけることや群馬県内で子ども食堂を運営している人たちが交流し、子ども食堂の輪を広げるために平成30年7月に「こども食堂ネットワークぐんま」を設立しました。



どんな活動をしているの？

- 子ども食堂実施団体などとの交流、情報交換、研修
定期的に情報交換会を実施しています。子ども食堂に携わっている方々で工夫点や悩みを共有し、ヒントを得られます。
また、安心安全な居場所を目指して、食品衛生などの研修を実施します。
- 子ども食堂に関する情報提供
新たに子ども食堂を立ち上げたい人には、すでに実施している子ども食堂を紹介しします。見学してみましょう。
- その他の活動
子ども食堂に食料の寄贈やお金の寄付をしたい、ボランティアをしてみたい、という方には、構成団体との調整を行わせていただきます。
下記事務局までお問い合わせください。



お問い合わせ先

こども食堂ネットワークぐんま事務局（群馬県社会福祉協議会）

☎027-212-0011 ホームページは [ぐんま 群馬 こども食堂](#) で検索



このマップは赤い羽根共同募金の助成を受けて製作しています。



安心・安全な
地域の居場所



マップ

こども食堂
child dining room network gunma
ネットワークぐんま

